

児童生徒の規範意識向上推進事業 〈奈良県教育委員会〉

事業目的

奈良県の教育課題である子どもの規範意識の向上について、平成26年度以降の効果的な事業展開に資するため、その実態・要因を調査・分析する。

奈良県児童生徒の規範意識に関するアンケート調査

5月中旬～

6月下旬～

8月下旬～

規範意識に関する詳細なアンケート調査(サンプリング)の実施

- ・対象年代：小学校3年・5年、中学校2年、高等学校2年
- ・対象校数等：小学校3年 48校・140学級(3800人程度)の予定
小学校5年 48校・137学級(4100人程度)の予定
中学校2年 28校・122学級(4200人程度)の予定
高等学校2年 10校・74学級(2900人程度)の予定
総計 15,000人(予定)
- 小・中学校・・・市町村別児童生徒数を踏まえて対象校数を決定し抽出
高等学校・・・地域性・学科を踏まえて対象校を抽出

本県の現状・課題の整理

本県の取組方針・施策の検討

【教育課題の改善】

全国学力・学習状況調査「規範意識の状況」を全国平均以上にする。

児童生徒の規範意識向上関連事業の実施

啓発関連

道徳教育関連

人権教育関連

地域教育関連

教職員研修関連

その他

子どもの規範意識の向上

プロジェクトチーム

- 生徒指導支援室、学校教育課、人権・地域教育課、教育研究所(15名)
- 指導助言者 森田洋司 大阪市立大学名誉教授
(日本生徒指導学会会長)

連携

奈良県地域教育力サミット 第1部会

平成25年度 本事業の実施

平成26年度 施策の実施(予定)